

## Specifications 主要諸元

		RS Q3 Sportback	RS Q3
型式		3BA-F3DNWF	3BA-F3DNWF
ステアリング位置		右	右
生産工場		ジェール	ジェール
寸法・重量	全長(mm)	4,505	4,505
	全幅(mm)	1,855	1,855
	全高(mm)	1,555	1,605
	ホイールベース(mm)	2,680	2,680
	トレッド : フロント(mm)	1,590	1,590
	: リヤ(mm)	1,595	1,595
	最低地上高(mm) (社内参考値)	180	180
車輻重量(kg)	1,730*1*2*3	1,730*1*2*3	
トランク容量(リッター)VDA値		530	530
乗車定員(名)		5	5
駆動方式		quattro (4WD)	quattro (4WD)
性能	最小回転半径(m)	5.4	5.4
	WLTCモード(km/ℓ)*4	9.8	9.8
	市街地モード(km/ℓ)*4	7.2	7.2
	郊外モード(km/ℓ)*4	9.9	9.9
	高速道路モード(km/ℓ)*4	11.4	11.4
	燃費向上対策	筒内直接噴射 電子スロットル 可変バルブタイミング 可変バルブリフト(排気のみ) 電動パワーステアリング 7速Sトロニックトランスミッション アイドリングストップ装置	筒内直接噴射 電子スロットル 可変バルブタイミング 可変バルブリフト(排気のみ) 電動パワーステアリング 7速Sトロニックトランスミッション アイドリングストップ装置
	冷媒の種類(GWP値)/使用量	R-1234yf(1 *5)/500	R-1234yf(1 *5)/500

## Specifications 主要諸元

		RS Q3 Sportback	RS Q3
エンジン	エンジン型式	DNW	DNW
	総排気量(cc)	2,480	2,480
	エンジン種類	直列5気筒DOHCインタークーラー付ターボ(1気筒=4バルブ)	直列5気筒DOHCインタークーラー付ターボ(1気筒=4バルブ)
	ボア×ストローク(mm)	82.5×92.8	82.5×92.8
	圧縮比	10.0	10.0
	燃料供給装置	電子式	電子式
	最高出力(kW(PS)/rpm)	294(400)/5,850-7,000	294(400)/5,850-7,000
	最大トルク(Nm(kgm)/rpm)	480(48.9)/1,950-5,850	480(48.9)/1,950-5,850
	燃料タンク容量(リッター)	63	63
	使用燃料	無鉛プレミアム	無鉛プレミアム
諸装置	トランスミッション	7速Sトロニック	7速Sトロニック
	1速	3.562	3.562
	2速	2.526	2.526
	3速	1.678	1.678
	4速	1.021	1.021
	5速	0.788	0.788
	6速	0.760	0.760
	7速	0.634	0.634
	後退	2.789	2.789
	減速比	1速、4速、5速、後退：4.375 2速、3速、6速、7速：3.684	1速、4速、5速、後退：4.375 2速、3速、6速、7速：3.684
	サスペンション：フロント ：リヤ	マクファーソンストラット式 ウィッシュボーン式	マクファーソンストラット式 ウィッシュボーン式
	ステアリング	ラック・ピニオン式	ラック・ピニオン式
	ブレーキ：フロント ：リヤ	ベンチレーテッドディスク ディスク	ベンチレーテッドディスク ディスク
タイヤ	255/40R20	255/40R20	

\*1 パノラマサンルーフ装着車の場合+30kgとなります。

\*2 フロントシート電動調整機能装着車の場合+10kgとなります。

\*3 パノラマサンルーフ+フロントシート電動調整機能装着車の場合+30kgとなります。

\*4 燃料消費率は国土交通省審査値。定められた試験条件のもとでの値です。実際の走行時には、使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

WLTCモード：市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード：信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。

郊外モード：信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード：高速道路等での走行を想定。

\*5 アウディジャパン株式会社は2023年までに、エアコンで使用するフロン冷媒の目標GWP\*値150以下(国内向け年間出荷台数の加重平均値)の達成を目指しています。\*GWP(Global Warming Potential地球温暖化係数)